

パンデミックの影響で2回にわたり中止となってきた国際大会がようやく開催されました。今回は、国際本部のあるインディアナ州インディアナポリスでの現地参加と、ヴァーチャル参加のハイブリッド形式でした。なお、総会部分は登録しなくても見られるように配慮されていました。登録者数は以下の通り。

	現地	ヴァーチャル	合計
全世界	1,485	1,009	2,494
内、日本	1	14	15



6月8日（水）

- ASPAC 役員会
- 優秀地区表彰式

国際大会が開催されなかった2回を含め、3期分の優秀地区が表彰されました。

日本地区は2018-2019年度優秀地区達成を表彰されました。



6月9日（木）

- 看板プロジェクト朝食会
- 各種研修会
- 野球観戦

Peter Mancuso 国際会長が始球式を行いました。

6月10日（金）

- 子どものための食糧詰め合わせ作成会



- 各種研修会

6月11日（土）

- 代議員総会（規約により代議員は現地参加者に限られました。）



1. 冒頭、キワニス・ヨーロッパの

Josef-Peter "Sepp" Schachemayr 会長より
ウクライナからの避難民支援についての
報告があり、その筆頭に日本の名前が
挙げられました。



2. Stan Soderstrom 国際専務理事の報告では、
国際会費の値上げについての言及がありました。

機関紙購読料を含む国際会費については来年の国際大会で審議することになりますが、現在アメリカとカナダの会員のみから徴収されている賠償責任の保険料は全世界に適用することが国際役員会で決定し、次年度からその費用 5 米ドルが上乗せされることになりました。（その後、これは撤回されました。）

3. 選挙：当選者は次の通り。

国際会長	Bert West	ロッキー山脈地区
次期国際会長	Katrina J. Baranko	ジョージア地区
国際副会長	Lee Kuan Yong	マレーシア地区
米国・太平洋カナダ地域 指定国際理事（3名）	Steven R. Ingram	インディアナ地区
	Gary Jander	カリフォルニア・ネバダ・ ハワイ地区
	Jackie Sue McFarlin	太平洋北西地区



Lee Kuan Yong 氏

4. 規約改正

(1) 下記の各案は可決されました。(いずれも 2022/10/1 発効。)

- ・ キワニスの名称およびマークの保護
- ・ キワニス役員を国際会長、国際次期会長、国際前会長と国際専務理事に限定
- ・ 新入会員の入会費を規定する条項の変更
- ・ 規約改正案と決議案の提案に際してのクラブのステータス
- ・ 非常事態への対応
- ・ 国際副会長の選挙方法
- ・ 国際規約の総合的改訂に関する基本的規定
(合わせて、国際キワニス規約の近代化改訂に関する決議も可決されました)
- ・ 副ガバナーの選出基準

(2) 下記の各案は否決されました。

- ・ 国際キワニスの遠隔投票
(様々な意見が出て、
時間いっぱい審議が行われましたが、
必要な 2/3 の票を集められず
否決されました。)
- ・ アルコール購入の禁止
- ・ 航空券購入に際しての禁止事項
- ・ 家族会員制度

PROPOSED AMENDMENT 6	
Remote Voting for Kiwanis International Business	
IN FAVOR	54.450 %
OPPOSED	45.550

● キワニス・ガラ



6月12日(日)

● 次期ガバナー研修会議

(前年11月に行う予定だった本会議ですが、コロナのためこの日に延期されました。)



※ ウィル・ブレックマン博士フェローシップ

2021年9月に亡くなったウィル・ブレックマン元国際会長を称え、キワニス子ども基金への一口2,500米ドルの寄付制度が設けられました。

開会式での発表後、大会中に300,000米ドル以上が寄せられました。

